

## 日本ホーリネス教団 熊本地震災害対策本部まとめ 【第5報】熊本教会の状況（5月6日現在）に関する件

### 1. 教会の状況について

教会堂が使用できませんので、4月24日と5月1日の礼拝は、近くの日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団希望ヶ丘教会で合同礼拝を行いました。5月1日の礼拝では、吉田文人牧師が御用されました。

また、吉田牧師の母教会である北米ホーリネス教団ホノルル・キリスト教会から、関真士牧師他2名が熊本教会を訪問してくださいました。4月28日に来日し、ボランティア活動や熊本教会員の訪問等をされ、5月4日に帰国されました。吉田牧師も母教会の支援にとっても励まされたとのことでした。

### 2. 教会堂（建物）の状況について

5月2日に熊本市による応急危険度判定が行われ、「要注意」（黄色）と診断されて張り紙がされました。5月3日に損害保険会社による地震保険の算定が行われ、「半壊」の判定を受けました。5月4日に屋根のブルーシートが剥がれてしまったので、業者にまた張り直しをお願いします。

本日(5/7)、キリスト者の建築士が教会に来られ、どの程度会堂が壊れているかなど詳しく見てくださる予定です。もし大丈夫でしたら、明日(5/8)から礼拝を再開したいと考えています。

### 3. 吉田文人牧師について

2月に椎間板ヘルニアになり、今回の震災に伴う荷物の搬出、搬入を行っていることで、再発しています。吉田牧師の健康のためにもお祈りください。

### 4. 教会員の状況について

教会員1名がまだ避難所に居られます。他県に避難して居られた1家族も、連休明けにはご自宅に戻られるとのことでした。

### 5. 災害対策本部からのお知らせ

- a. 現地への直接連絡は、ご遠慮くださるようお願いいたします。何かありましたら、[dengon@jhc.or.jp](mailto:dengon@jhc.or.jp)（でんごん@jhc.or.jp）にお問い合わせください。
- b. 第2次ボランティアを募集いたします。詳しくは第6報をご覧ください。
- c. 「災害支援献金」のご協力もよろしくようお願いいたします。会計処理の都合上、教団事務所への献金の持参ではなく、4月の全国発送で振替用紙（赤）を同封しましたので、それをご利用ください。領収書は原則として送金の際の払込受領書をもって代えさせていただきます。但し、領収書の必要な方は、通信欄にその旨をお書きください。

▽ 送金方法 郵便振替 00190-4-545635

「日本ホーリネス教団緊急支援対策室」

▽ (第1次) 目標額 500万円   ▽ (第1次) 締め切り 6月30日(木)